

防災まつば

2023年度 防災専門部会 第2号

松葉町地域ふるさと協議会 柏市松葉町4-11 Tel/FAX 04-7133-4938

防災専門部会 広報委員会発行 <https://furukyo.matuba.org/> Email: furukyo@matuba.org

「みんなで築こう災害への備え～ 一人ひとりが参加する地域防災を目指して」

10月21日に柏市消防局副局長兼西部消防署長鈴木清様を講師としてお招きし、松葉町地域ふるさと協議会防災講習会が松葉近隣センターにて開催されました。

柏市市民活動支援課、松葉地区自治会長・町会長、防災組織責任者、社会福祉協議会、包括支援センター、健康づくり推進センター等の方々と共に、東日本大震災での陸前高田への派遣経験を踏まえた貴重なお話をいただきました。

東日本大震災！その時柏では！

被害状況等

- ・ 柏市での震度「震度5強」（東葛飾 震度6弱）
- ・ 人的被害23件
- ・ 住家全壊から一部破損まで含めて1292棟
- ・ 道路損壊143件
- ・ 水道関連448件
- ・ 石塀等109箇所

震度計は地盤がしっかりしたところに設置される。

地盤の弱いところではもっと強い震度になる。

陸前高田市に支援部隊として派遣

陸前高田市に後方支援部隊として派遣。一般車が通行止めとなった高速道路を使用し、雪道でチェーンを装着するなど、20時間ほどかかったそうです。

夜間に到着し、市中の通路の両側に高層ビルが林立しているように見えた影は、通路を作るため積み上げられた瓦礫の山だったそうです。

被災者のみならず、奇跡的に被災を逃れた住民の方からも、感謝の声かけや支援活動への理解などあり、地域全体で一体化した心を持ち、絆を感じられたそうです。（松葉地区でも「顔の見える地域」として普段のコミュニケーションの重要です。）

M7程度の首都直下地震の発生確率が30年以内に70%

- ・首都中枢機能への影響が大きい都心南部を首都直下型地震の首都と想定
直下とはプレート界地震（広い範囲で2分程度の長い揺れ）を想定
- ・M8クラスの地震の発生周期は約200年
M7クラスの地震の発生周期は30年に1回
- ・南関東地域のプレートの沈み込みに伴う都心南部直下地震を想定

松葉地域の地震想定

松葉地域の特徴

- ・地域の半分以上が住宅地
- ・人口密度が高く、若年人口割合が小さく、老年人口割合が最も大きい
- ・建物密度が高いが、老朽建物割合は、小さい
昭和50年代に建築された集合住宅が立地



- ・柏市直下地震発生では震度6強の想定
- ・建物の損壊は市内で少ないと思われるが、火災による焼失もある
- ・約1050人（地域の約8,8%）が避難所で生活と予測

その他懸案事項

- ・在宅避難でも長期化すると、安否確認、物資不足、物資の配布方法など問題
- ・他の地区の人が避難所に来た時、町会単位では対応できない。
- ・集合住宅の再建では複数の意見でまとまらない

松葉第一小学校、松葉第二小学校、松葉中学校
それぞれの避難所開設手順書が出来上がりました。
各町会ごとに指定避難所のマニュアルをダウンロードしてご利用下さい。



避難所開設手順書二次元コード

<https://furukyo.matuba.org>

松葉町ふるさと協議会HP

防災揭示版